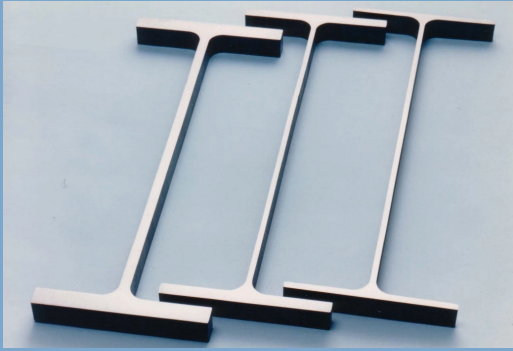




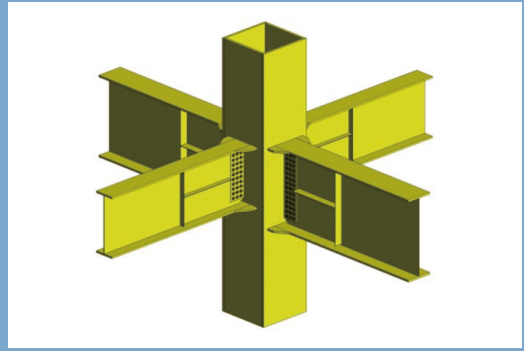
ハイパービーム® × 梁端ウェブ補剛工法

梁・床構造 強く・安全 早く・経済的 使いやすく・確実 環境にやさしく・持続的

梁端ウェブ補剛工法は大梁端部のウェブをスチフナによって補強し、局部座屈を防止する工法です。
 ハイパービーム(外法一定H形鋼)との組合せによって、梁の軽量化と耐震性能の向上を両立することができます。



ハイパービーム®



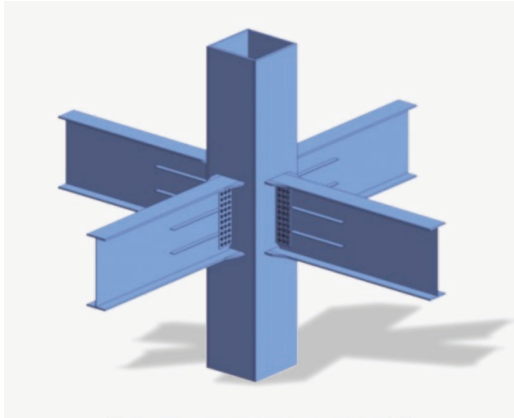
梁端ウェブ補剛工法

(BCJ評定-ST0211-04、特許第6105878号 他)

※梁端ウェブ補剛工法は、日本製鉄株式会社と株式会社日建設計の共同開発工法です。

ハイパービーム® × 梁端ウェブ補剛工法のメリット

- **変形性能の向上**：梁端ウェブをスチフナ補剛することで、部材種別FAあるいはFB相当の塑性変形能力を発揮します。
- **鋼材量の削減**：ウェブ薄肉化により、鋼重削減が可能です。



水平スチフナ形式



格子スチフナ形式

補剛形式は「格子スチフナ形式」「水平スチフナ形式」の2種類を用意しており、また、現場溶接形式、工場溶接形式のいずれにも適用できます

鋼重削減例

試算はあくまで一例であり、条件等によって適用効果は異なる場合があります。

	鋼種	断面寸法	幅厚比種別	降伏曲げ耐力比	単位質量	鋼重量比率
JIS	SN490B	H-900×300×16×28	FB	1.00	240	1.00
HY +梁端ウェブ補剛工法	NSYP345B	H-900×300×14×25	FA	0.95	213	0.89

鋼重
ダウン

〈ご注意とお願い〉 本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複製はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、或いは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。

日本製鉄株式会社

〒100-8071 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号
 Tel: 03-6867-4111 Fax: 03-6867-5607
www.nipponsteel.com

ハイパービーム® × 梁端ウェブ補剛工法 ProStruct® 建築分野
 K301_02_202311f
 © 2023 NIPPON STEEL CORPORATION 無断複製転載禁止